

適正使用のためのチェックシート

1. 次の項目にひとつでも該当する方は、
このお薬を服用することはできません。

- 過去に本剤に含まれる成分(エピナスチン塩酸塩)で過敏な反応を経験したことがある人。
- 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- 授乳中の人。(どうしても服用する場合は、授乳を避けてください。)
- 15才未満の小児。
- 肝臓病の診断を受けた人。

2. 次の項目にひとつでも該当する方は、
このお薬を服用する際に注意が必要です。
購入される前に医師又は薬剤師に相談してください。

- 医師の治療を受けている人。
- 高齢者。
- 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- アレルギーによる症状か他の原因による症状かはっきりしない人。

3. このお薬を服用される場合、次のことをお守りください。

- ・医師の治療を受けている人や薬局・薬店で他のお薬を購入する場合は、このお薬を服用していることを必ず医師又は薬剤師に教えてください。
- ・このお薬を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
他のアレルギー用薬(皮ふ疾患用薬、鼻炎用内服薬を含む)、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(かぜ薬、鎮咳去痰薬、乗物酔い薬、催眠鎮静薬)
- ・眠気があらわれることがあるので、服用後は乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
- ・このお薬を服用する時は飲酒しないでください。
- ・1週間位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。
- ・症状の改善がみられても2週間を超えて服用する場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

4. 副作用と思われる次のような症状があらわれた場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

・服用後、次の症状があらわれた場合は直ちに服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

関係部位	症 状
皮ふ	発疹・発赤、はれ、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、口内炎、胃部不快感、腹痛、胃重感、胃もたれ感、腹部膨満感、食欲不振
精神神経系	めまい、不眠、頭痛、頭がぼーっとする、しびれ感
その他	むくみ、排尿困難、頻尿、血尿、蛋白尿、ほてり、胸痛、動悸、痰がからむ、息苦しい、倦怠感、鼻づまり、月経異常、苦味を感じる、味覚が弱くなる

・服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強がみられた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。 口のかわき、便秘、下痢、眠気

・まれに起きる重篤な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重篤な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、直ちに医師の診療を受けてください。

重篤な副作用	主な自覚症状
肝機能障害	はきけ、嘔吐、食欲不振、かゆみ、全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる、尿が褐色になる)等があらわれる。
血小板減少	出血しやすい、鼻血、歯ぐきからの出血、青あざ等の出血症状があらわれる。

以上の自覚症状を、副作用があらわれる部位別に並びかえると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重篤な副作用ごとの表を確認してください。

部位	自覚症状
全身	からだのだるい
眼	白目が黄色くなる
口や喉	嘔吐、はきけ、歯ぐきからの出血
胸部	はきけ

部位	自覚症状
腹部	食欲不振、はきけ
皮ふ	皮ふが黄色くなる、かゆみ、青あざができる
尿	尿が褐色になる
その他	出血しやすい、鼻血